

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3191642号
(U3191642)

(45) 発行日 平成26年7月3日 (2014.7.3)

(24) 登録日 平成26年6月11日 (2014.6.11)

(51) Int.Cl. F 1
A 4 5 C 3/04 (2006.01) A 4 5 C 3/04 C

評価書の請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 実願2014-2077 (U2014-2077)
(22) 出願日 平成26年4月21日 (2014.4.21)(73) 実用新案権者 395010875
マツシロ株式会社
大阪府東大阪市角田1丁目10番8号
(74) 代理人 100120329
弁理士 天野 一規
(74) 代理人 100159499
弁理士 池田 義典
(74) 代理人 100158540
弁理士 小川 博生
(74) 代理人 100106264
弁理士 石田 耕治
(74) 代理人 100176876
弁理士 各務 幸樹
(74) 代理人 100177976
弁理士 根木 義明

最終頁に続く

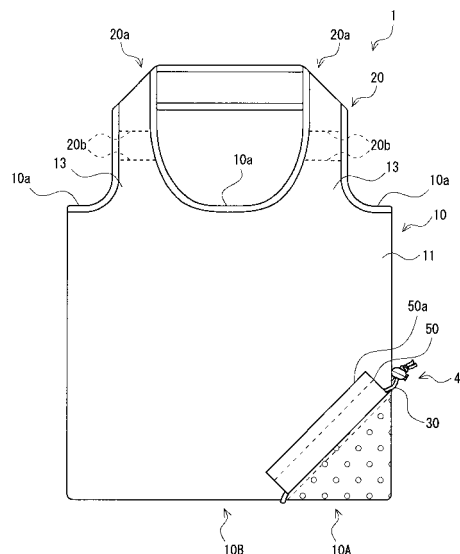
(54) 【考案の名称】 買い物袋

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 収納用の部材の紛失がなく、極めて簡便な作業で袋体をコンパクトに纏めることができる買い物袋を提供する。

【解決手段】 一対の略方形状の可撓性シート状部材 11 を有し上縁に開口部を有する袋体 10 と、この袋体の上方に設けられる把持部 20 とを備える買い物袋であって、袋体の下側コーナ部が、袋体の他部 10B を収脱可能な収納部 10A として構成され、袋体の収納部と他部との境界に配設され、収納部を開閉する開閉手段 30 をさらに備える。袋体の下側コーナ部（収納部）に向けて袋体の他部を押し込むようにしつつ収納でき、収納後に開閉手段によって収納部を閉塞することで、買い物袋をコンパクトに纏めることができる。開閉手段が拡張可能な環状の紐状体であるとよい。買い物袋が、紐状体に取り付けられ、紐状体の拡張状態を維持するコードストッパー 40 をさらに備えるとよい。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

一対の略方形状の可撓性シート状部材を有し上縁に開口部を有する袋体と、この袋体の上方に設けられる把持部とを備える買い物袋であって、

上記袋体の下側コーナ部が、袋体の他部を収脱可能な収納部として構成され、

上記袋体の収納部と他部との境界に配設され、収納部を開閉する開閉手段をさらに備えることを特徴とする買い物袋。

【請求項 2】

上記開閉手段が拡張可能な環状の紐状体である請求項 1 に記載の買い物袋。

【請求項 3】

上記紐状体に取り付けられ、紐状体の拡張状態を維持するコードストッパーをさらに備える請求項 2 に記載の買い物袋。

【請求項 4】

上記袋体の外面に付設され、内部に上記紐状体が挿通される可撓性ガイド部材をさらに備える請求項 2 又は請求項 3 に記載の買い物袋。

【請求項 5】

上記収納部が、上記袋体の他部とともに把持部を収脱可能である請求項 1 から請求項 4 のいずれか 1 項に記載の買い物袋。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、買い物袋に関する。

【背景技術】**【0002】**

買い物袋として、小売店が提供する使い捨ての所謂レジ袋ではなく、地球環境保護の観点から消費者が持参する所謂エコバッグが推奨されている。

【0003】

また、この種のエコバッグとして、持ち運ぶことの簡便性に考慮して、小さく折り畳むことのできる折り畳み式のものが提案されている。

【0004】

しかし、このような折り畳み式のエコバッグは、折り畳む手順が複雑であり、エコバッグを小さく折り畳む手間が煩雑なため、結果として利用者に幅広く使用されるに至っていないのが現状である。

【0005】

さらに、ファッション性を高めるべく、縫いぐるみ付きのエコバッグも提案されている（特開 2011-125642 号公報参照）。この縫いぐるみ付きエコバッグは、バッグとして機能する袋体と、この袋体を折り畳んで収納できる縫いぐるみが別体に構成されている。

【0006】

しかし、この縫いぐるみ付きのエコバッグは、袋体と縫いぐるみが別体であるため、袋体の使用時に縫いぐるみを紛失してしまうおそれがある。また、上記特開 2011-125642 号公報には、袋体と縫いぐるみを紐で連結する形態が記載されているが、この形態であれば、袋体を縫いぐるみ内に収納する際に、紐が邪魔となり、収納作業が煩雑となるおそれがある。

【先行技術文献】**【特許文献】****【0007】**

【特許文献 1】特開 2011-125642 号公報

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】**

10

20

30

40

50

【0008】

本考案はこれらの不都合に鑑みてなされたものであり、本考案の目的は、収納用の部材の紛失がなく、極めて簡便な作業で袋体をコンパクトに纏めることができる買い物袋を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0009】

本考案は、上記課題を解決するためになされになされたものであり、本考案に係る買い物袋は、

一対の略方形状の可撓性シート状部材を有し上縁に開口部を有する袋体と、この袋体の上方に設けられる把持部とを備える買い物袋であって、

上記袋体の下側コーナ部が、袋体の他部を収脱可能な収納部として構成され、

上記袋体の収納部と他部との境界に配設され、収納部を開閉する開閉手段をさらに備えることを特徴とする。

【0010】

当該買い物袋にあっては、袋体に商品を収容して把持部を利用者が把持することで買い物袋として好適に利用することができ、買い物袋として使用していない状態では収納部に袋体の他部を収納することで当該買い物袋をコンパクトに纏めることができる。この収納部への収納作業に際しては、この収納部が袋体の下側コーナ部から構成されているので、利用者は、袋体の下側コーナ部に向けて袋体の他部を押し込むようにしつつ収納でき、収納後に開閉手段によって収納部を閉塞することで、当該買い物袋をコンパクトに纏めることができる。このため、従来の折り畳み式のエコバッグに比べて、当該買い物袋は、コンパクトに纏める作業が極めて簡便である。また、当該買い物袋は、収納部が袋体の一部（下側コーナ部）から構成されているので、従来の縫いぐるみ付きエコバッグのようにエコバッグ使用時における収納部（縫いぐるみ）の紛失の問題が生じず、また紛失防止のための部材（紐）の存在によって収納作業が煩雑となるおそれがない。このように、当該買い物袋は、袋体の下側コーナ部が、袋体の他部を収納する収納部として構成されていることで、収納用の部材の紛失がなく、極めて簡便な作業で袋体をコンパクトに纏めることができる。

【0011】

当該買い物袋にあっては、上記開閉手段として、袋体の内面に面ファスナー等を設けることも可能であるが、拡張可能な環状の紐状体を採用することが好ましい。

【0012】

このように開閉手段として上述のような紐状体を用いると、収納部に袋体の他部を収納した後に紐状体を縮径することで、収納部を閉塞することができ、当該買い物袋のコンパクトな状態を容易かつ確実に維持することができる。また、当該買い物袋を使用する際には、紐状体を拡張することで、収納部を開放することができ、袋体の他部を引き出すことで袋体に収容物を収容できる。

【0013】

当該買い物袋にあっては、上記紐状体を備える場合、紐状体に取り付けられ、紐状体の拡張状態を維持するコードストッパーをさらに備えることが好ましい。

【0014】

このようなコードストッパーを備えることで、上述のように収納部に袋体の他部を収納し、紐状体を縮径した後に、紐状体の縮径状態をコードストッパーによつて的確に維持できるため、当該買い物袋のコンパクトな状態を容易かつ確実に維持することができる。特に、コードストッパーが紐状体に付設されているので、他の固定手段を別途設ける場合に比べて固定用の部材の紛失がなく、また、紐状体を結ぶ等により固定する場合に比べて、極めて簡便な作業で袋体をコンパクトに纏めることができる。

【0015】

当該買い物袋にあっては、袋体の外面に付設され、内部に紐状体が挿通される可撓性ガイド部材をさらに備えることが好ましい。

【００１６】

これにより、紐状体を閉塞した際に、可撓性ガイド部材によって紐状体をガイドしつつ、この可撓性ガイド部材が袋体とともに縮径方向に収縮することができ、的確に環状の紐状体を閉塞することができる。

【００１７】

当該買い物袋にあっては、収納部が把持部を収納しないものであってもよいが、収納部が袋体の他部とともに把持部も収脱できることが好ましい。

【００１８】

このように把持部も収納部に収納することで、当該買い物袋をよりコンパクトな状態に纏めることができる。

【考案の効果】

【００１９】

以上説明したように、当該買い物袋は、袋体の下側コーナ部が、袋体の他部を収脱可能な収納部として構成されていることで、収納用の部材の紛失がなく、極めて簡便な作業で袋体をコンパクトに纏めることができる。

【図面の簡単な説明】

【００２０】

【図１】本考案の実施形態の買い物袋の概略的説明図であって、買い物袋として使用する状態の概略的正面図である。

【図２】図１の買い物袋の使用状態の概略的説明図であって、袋体の他部及び把持部を収納部に収納した状態の概略的斜視図である。

【図３】図１の買い物袋の使用状態の概略的説明図であって、袋体の他部及び把持部の収納部への収納作業中の概略的斜視図である。

【考案を実施するための形態】

【００２１】

〔第一実施形態〕

以下、本考案に係る買い物袋の第一実施形態として、図１～図３に示すようなエコバッグについて説明する。

【００２２】

<エコバッグ>

図１に示すエコバッグ１（買い物袋）は、一对の略方形状の可撓性シート状部材１１を有し上縁に開口部を有する袋体１０と、この袋体１０の上方に設けられる把持部２０とを備え、袋体１０の下側コーナ部が、図２に示すように袋体１０の他部１０Ｂ及び把持部２０を収納できる収納部１０Ａとして構成されている。本実施形態において、収納部１０Ａは、図１のように正面視略三角形に設けられ、この収納部１０Ａは、側縁と下縁とが略直角で略同一長さである略直角二等辺三角形をなしている。

【００２３】

当該エコバッグ１は、後述において詳述するように、袋体１０の下側コーナ部（収納部１０Ａ）に向けて図３に示すように袋体１０の他部１０Ｂを押し込むことで収納することができ、極めて簡便な作業で袋体１０をコンパクトに纏めることができる。なお、当該エコバッグ１は、収納時にイチゴを視認者に連想させるべく、収納部１０Ａ外面に水玉模様を配設しており、具体的には、収納部１０Ａは、赤字に白の水玉が配された外観を有している。

【００２４】

上記袋体１０は、略同形状の一对の上記可撓性シート状部材１１が両側縁及び下縁が接合されることで袋状に形成されている。なお、一对の可撓性シート状部材１１の上縁は接合されないため、袋体１０の上方に上記開口部が設けられる。

【００２５】

また、袋体１０は、収納部１０Ａにおいて正面及び背面がそれぞれ多重構造（二重構造）をなしており、具体的には、袋体１０の他部１０Ｂと同一の可撓性シート状部材１１か

10

20

30

40

50

ら構成される内層と、この内層の外側面に配設される外層とを有している（図示省略）。なお、外層には既述のような水玉模様が印刷されている。また、内層と外層とは、下縁及び側縁において、上記袋体 10 の袋状に形成する接合によって接合されている。また、上縁（傾斜縁）においては後述する可撓性ガイド部材 50（筒状体）の接合とともに接合されている。

【0026】

上記可撓性シート状部材 11 の具体的形状は、特に限定されるものではなく、袋体 10 の形状に適するよう適宜設計変更可能であり、外縁の一部（例えば、上縁における把持部 20 との接続部分や、側縁と下縁との連続部分等）に曲線等を有するものも採用可能である。

10

【0027】

なお、当該エコバッグ 1 においては、可撓性シート状部材 11 の上部に後述するように把持部 20 を接合するための接合部 13 が延設されている。

【0028】

また、上記収納部 10A の大きさは特に限定されず、収納される袋体 10 の他部 10B 及び把持部 20 の体積等に応じて適宜設計変更可能である。例えば、袋体 10 が合成素材の織物から構成される場合、当該エコバッグ 1 の正面視全体面積の $1/30$ 倍以上 $1/4$ 倍以下とすることができ、 $1/15$ 倍以上 $1/8$ 以下とすることができる。

【0029】

上記可撓性シート状部材 11 の材質は、特に限定されるものではなく、一般的にエコバッグ 1 として用いられる材質を適宜用いることができる。具体的には、この材質の例としては、ナイロン、ビニロン、ポリエステル、アクリル等の合成素材や、綿、麻、毛、絹等の天然素材等が挙げられる。中でも、コンパクトに纏めやすく、強度、耐水性等が優れることにより、合成素材から構成されていることが好ましい。なお、収納部 10A の外層を構成する部材も同様である。

20

【0030】

また、可撓性シート状部材 11 は、織物、編物、不織布等、特に限定されものではないが、強度等の観点から織物であることが好ましい。なお、収納部 10A の外層を構成する部材も同様である。

【0031】

さらに、袋体 10 の両側縁及び下縁の接合方法は、特に限定されものではないが、製造コスト、強度等の観点から縫製によることが好ましい。

30

【0032】

袋体 10 のサイズとしては、特に限定されるものではなく、エコバッグ 1 の使用態様等に応じて適宜設計変更可能であり、例えば、幅（両側縁間の距離）としては 30 cm 以上 70 cm 以下、高さ（下縁と上縁との距離）としては 30 cm 以上 50 cm 以下とすることができる。

【0033】

当該エコバッグ 1 は、一対の上記把持部 20 を有し、この把持部 20 は、各端部でそれぞれ袋体 10 の上縁に接続される可撓性の带状部材から構成されている。

40

【0034】

本実施形態においては、一方（前方）の把持部 20 は、両端が一方（前方）の上記可撓性シート状部材 11 に接合され、他方（後方）の把持部（図示省略）は、両端が他方（後方）の上記可撓性シート状部材 11 に接合されている。また、带状部材は、両端部において同一面が袋体 10 の外面に向くように接合されている。具体的には、带状部材（把持部 20）は、一端が一方の面を袋体 10 外面に向けて袋体 10 に接合され、中途部 20a において二回折り返されて（展開状態の平坦状態）、他端が上記一方の面を袋体 10 外面に向けて袋体 10 に接合されている。一対の把持部 20 がこのように袋体 10 に接合されているので、袋体 10 に収容物（商品）を収容した後に把持部 20 を把持した際に、利用者の手に当接する把持部 20 の中央は水平となりやすく、このため、把持部 20 を把持する

50

利用者の手への負担を緩和することができる。

【0035】

上記把持部20を構成する帯状部材の材質は、特に限定されるものではなく、袋体10で例示した材料を用いることができ、また袋体10と同一材料から構成することが好ましい。また、この帯状部材20は、編物、不織布等であっても良いが、袋体10と同様に織物であることが好ましい。さらに、把持部20と袋体10との接合方法は、特に限定されるものではないが、製造コスト、強度等の観点から縫製によることが好ましく、把持部20の一端部と袋体10の接合部13とは、図示例のように上下複数箇所（図示例では二箇所20b）で縫製されていることが好ましい。

【0036】

上記袋体10は、上述のように把持部20を接合する接合部13を有し、この接合部13は、他の上縁11aよりも上方に延出して設けられている。この接合部13は、上方が上記帯状部材20と略同幅で、下方にかけて幅が広がる形状で、かつ下方で他の上縁と連続する形状を有している。このように接合部13は、上方よりも下方にかけて幅が広く、さらには他の上縁11aと連続する外縁を有しているので、袋体10に重量物を収容しても袋体10の重量を的確に把持部20に伝達することができ、当該買い物袋1によって多量の収容物を容易かつ確実に収容できる。

【0037】

また、当該袋体10は、袋体10の上縁及び把持部20の外縁がパイピング加工（パイピング縫い）を施されている。

【0038】

当該エコバッグ1は、収納部10Aが巾着状に開閉できるよう設けられている。つまり、当該エコバッグ1は、袋体10の収納部10Aと他部10Bとの境界に配設され、収納部10Aを開閉する開閉手段30をさらに備えている。この開閉手段30は、拡張可能な環状の紐状体から構成されている。また、当該エコバッグ1は、上記紐状体30に取付けられたコードストッパー40と、内部に紐状体30が挿通される可撓性ガイド部材50とをさらに備えている。

【0039】

上記紐状体30は、正面側において一方の側縁から下縁に、背面側において下縁から上記一方の側縁に位置するよう配設されている。このため、紐状体30が縮径することで正面視略三角形の収納部10Aが閉塞され、拡張することで収納部10Aが開放される。

【0040】

上記紐状体30は、公知又は周知の紐を用いることができ、その材質も特に限定されるものではなく、例えば、綿、麻、毛、絹等の天然素材等や、ナイロン、ビニロン、ポリエステル、アクリル等の合成素材等が挙げられる。また、紐状体30の長さ等は、収納部10Aの大きさ等に応じて適宜設計変更可能である。

【0041】

また、当該エコバッグ1は、上記紐状体30に取付けられ、紐状体30の拡張状態を維持するコードストッパー40をさらに備えている。このコードストッパー40は、紐状体30に係止することで紐状体30の拡張状態を維持でき、また、コードストッパー40の係止状態を解除することで紐状体30を拡張・縮径できる。このコードストッパー40としては、例えば、紐を挿通する挿通穴を有する筒状の本体部と、この本体部にスライド可能に取付けられるとともに上記紐を挿通可能な挿通穴を有する筒状のスライド部と、本体部及びスライド部間に配設されるバネ等の弾性手段とを有し、本体部及びスライド部双方の挿通穴に挿通された二本の紐が弾性手段の弾性復元力によって本体部とスライド部との間に係止されるものを用いることができる（図示省略）。なお、このコードストッパー40の材質は特に限定されず、例えば合成樹脂製のコードストッパー40等を用いることができる。

【0042】

当該エコバッグ1は、袋体10の外面に付設され、内部に紐状体30が挿通される可撓

10

20

30

40

50

性ガイド部材 50 をさらに備えている。この可撓性ガイド部材 50 は、紐状体 30 が内部に挿通される筒状体から構成されている。本実施形態においては、袋体 10 の正面側に一の筒状体 50 が配設され、背面側に他の筒状体（図示省略）が配設されており、つまり一对の筒状体 50 を当該エコバッグ 1 は備えている。なお、一对の筒状体は同一形状から構成されている。

【0043】

この筒状体 50 の材質等は、特に限定されるものではなく、袋体 10 で例示した材料を用いることができ、また袋体 10 又は把持部 20 と同一材料から構成することが好ましい。また、上記筒状体 50 は、織物を縫製することによって形成することができる。なお、この筒状体 50 は、視認者にイチゴの萼（ガク）を認識させるよう、外面が緑色に設けられていることが好ましい。

10

【0044】

上記筒状体 50 は、基端縁が袋体 10 に縫製されることで、袋体 10 に固定されている。詳述すると、上記袋体 10 の収納部 10A の外層と内層との間に筒状体 50 の基端縁が挟まれた状態で、外層、筒状体及び内層が縫製されることで、三者が固定されている。また、筒状体 50 の他端縁 50a は自由端（他の部材に接合されない部分）として設けられている。

【0045】

<使用方法>

次に、当該エコバッグ 1 の使用方法について説明する。

20

【0046】

当該エコバッグ 1 は、図 1 に示すように、袋体 10 の他部 10B 及び把持部 20 が収納部 10A に収納されず展開された状態において、袋体 10 内に収容物（商品）を収容して、把持部 20 を利用者が把持することで買い物袋として好適に利用することができる。

【0047】

そして、買い物袋として使用した後に、図 3 に示すように袋体 10 の下側コーナ部の収納部 10A に袋体 10 の他部 10B 及び把持部 20 を折り畳むことなく、順次乱雑に押し込みつつ纏める作業を行うことができ、袋体 10 の収納部 10A に他部 10B 等を収納することができる。そして、コードストッパー 40 による紐状体 30 の係止状態を解除し、紐状体 30 を縮径し、縮径後コードストッパー 40 によって紐状体 30 を係止することで、図 2 に示すように袋体 10 の他部 10B 及び把持部 20 を収納した収納部 10A を閉塞することができる、当該エコバッグ 1 を略紡錘状（イチゴ型状）にコンパクトに纏めることができる。

30

【0048】

当該エコバッグ 1 は、袋体 10 の収納部 10A への他部 10B 及び把持部 20 の収納作業に際しては、利用者は、袋体 10 の下側コーナ部（収納部 10A）に向けて袋体 10 の他部 10B を乱雑或いは無秩序に順次押し込むことにより収納することができ、収納後に紐状体 30 によって収納部 10A を閉塞することで、当該エコバッグ 1 をコンパクトに纏めることができる。

【0049】

このため、従来の折り畳み式のエコバッグ 1 のように折り畳む方法が決まっているものに比べて、当該エコバッグ 1 は、コンパクトに纏める作業が極めて簡便である。

40

【0050】

また、当該エコバッグ 1 は、収納部 10A が袋体 10 の一部（下側コーナ部）から構成されているので、従来の収納用の縫いぐるみを有するエコバッグ 1 のようにエコバッグ 1 使用時における縫いぐるみの紛失の問題が生じず、また紛失防止のための部材の存在によって収納作業が煩雑となるおそれがない。

【0051】

また、上述のように袋体 10 の収納部 10A に他部 10B 等を収納し紐状体 30 を縮径した後に、紐状体 30 の縮径状態をコードストッパー 40 によつて的確に維持できるため

50

、当該買い物袋のコンパクトな状態を容易かつ確実に維持することができる。

【0052】

特に、コードストッパー40は紐状体30に取付けられているので、他の固定手段を別途設ける場合に比べて固定用の部材の紛失がない。また、利用者が紐状体30を結ぶ等により固定する場合に比べて、コードストッパー40を用いた極めて簡便な作業で袋体10をコンパクトに纏めることができる。

【0053】

また、当該エコバッグ1は、上述のように構成されているため、このコンパクトに纏めた状態で、上記紐状体30を用いて他のカバン等に取り付けることも可能である。また、当該エコバッグ1は、図2に示すように、視認者に対してイチゴを連想させるような形態に纏めることができ、視覚的效果に優れるので、カバン等にアクセサリ的に取付けて用いることができる。

10

【0054】

また、買い物袋として使用する際には、上記コードストッパー40による紐状体30の係止状態を解除し、紐状体30を拡張して、収納部10Aを開放し、収納部10Aから袋体10の他部10B及び把持部20を収納した収納部10Aを取り出して、上述のような買い物袋として用いることができる。

【0055】

[その他の実施形態]

なお、上記第一実施形態は、上述の構成から上記利点を奏するものではあったが、本考案は上記実施形態に限定されるものではなく、本考案の意図する範囲内で適宜設計変更可能である。

20

【0056】

つまり、上記実施形態では、収納部10Aを開閉する開閉手段として紐状体30を用いたものについて説明したが、本考案はかならずしもこれに限定されるものではない。具体的には、上記開閉手段として、例えば袋体10の内面に面ファスナーやボタン等を設け、収納部10Aを開閉することも可能である。但し、開閉手段としては、拡張・縮径可能な環状の紐状体30を採用することが好ましく、これによりコスト高となることを抑制できるとともに、コンパクトに纏める作業が上述のように極めて簡便となる。

【0057】

また、上記実施形態では、紐状体30を挿通する可撓性ガイド部材50を有するものであったが、本考案は必ずしもこれに限定されるものではない。つまり、例えば上記実施形態のように収納部10Aを内層及び外層の二層構造とし、この内層と外層との間に紐状体を挿通するガイド部を形成し、このガイド部に紐状体を挿通することも可能である。ただし、上記実施形態のように袋体10の外面に付設される可撓性ガイド部材50の内面に紐状体30を挿通することが好ましく、これにより当該エコバッグ1を容易かつ確実に製造でき、製造コストの低減が図られる。

30

【0058】

さらに、上記実施形態のように紐状体30を挿通する可撓性ガイド部材50を設ける場合であっても、上記実施形態のような筒状体に限定されるものではなく、また筒状体であっても他端を自由端とするものに限定されない。ただし、上記実施形態のように筒状体50の一端を袋体10に固定し、他端縁50aを自由端としてもおくことで、袋体10の収納部10Aに他部10Bを収納した後に紐状体30を縮径した際に、袋体10の他部10Bが完全に収納部10A内に容易かつ確実に収納させることができるという利点を有する。

40

【0059】

また、上記実施形態においては、収納部10Aを多層構造としたものについて説明したが、本考案はこれに限定されず、収納部10Aが一層構造のものも本考案の意図する範囲内である。ただし、上記実施形態のように収納部10Aを多層構造として、この多層構造部分に上記可撓性ガイド部材50を固定することで、可撓性ガイド部材50の固着強度に

50

優れ、製品寿命を長くすることができるという利点を有する。

【0060】

さらに、上記実施形態においては、袋体10が一对の上記可撓性シート状部材11の両側縁及び下縁を接合することで袋状に形成されているものについて説明したが、本考案はかならずしもこれに限定されない。つまり、本考案において、袋体10が側部にマチを有するものであっても良く、さらには袋体10が下部に底部を有するものであっても良い。

【0061】

さらに、上記実施形態では一对の把持部20を有するものについて説明したが、把持部20の構造等は適宜設計変更可能である。

【産業上の利用可能性】

10

【0062】

以上説明したように、本考案に係る買い物袋は、容易にコンパクトに纏めることができ、常時携帯しておくとな便利なエコバッグとして好適に用いることができる。

【符号の説明】

【0063】

1 買い物袋（エコバッグ）

10 袋体

10A 収納部

10B 他部

11 可撓性シート状部材

13 接合部

20 把持部

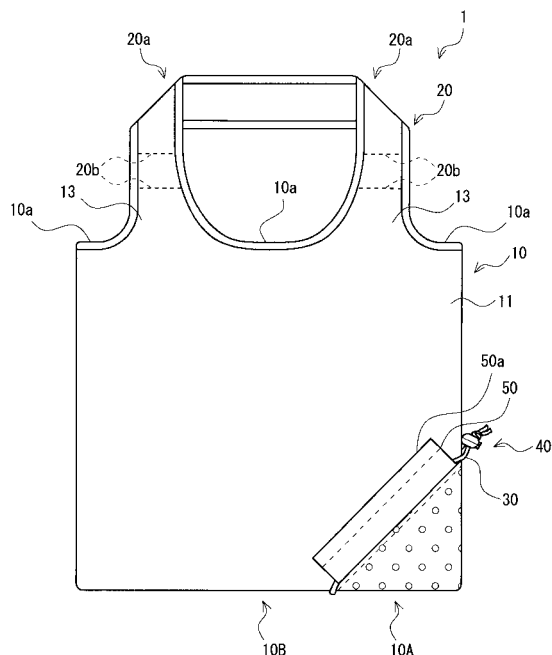
30 開閉手段（紐状体）

40 コードストッパー

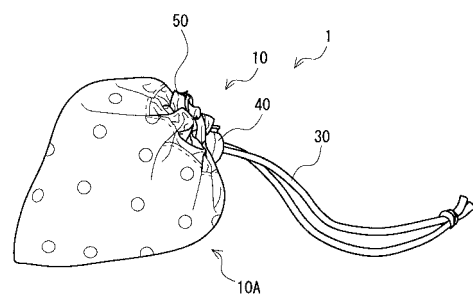
50 可撓性ガイド部材

20

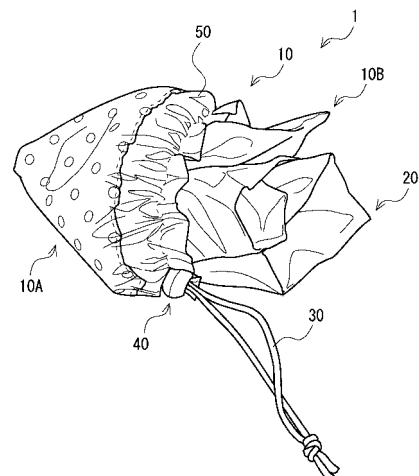
【図1】



【図2】



【図3】



フロントページの続き

(74)代理人 100117167

弁理士 塩谷 隆嗣

(74)代理人 100187768

弁理士 藤中 賢一

(72)考案者 松城 幹夫

大阪府東大阪市角田1丁目10番8号 マツシロ株式会社内